

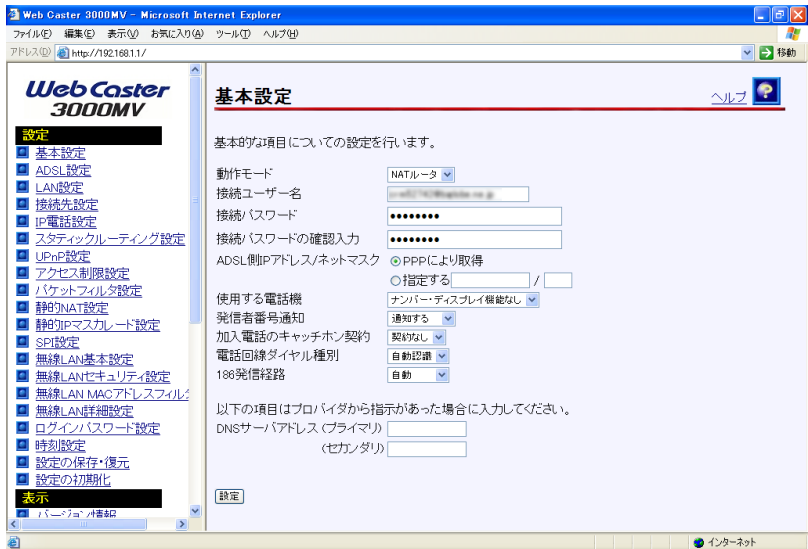
追加機能について

1-1 186発信経路

ファームウェア Ver 1.21 から 186 発信経路を指定する機能が追加されました。接続先番号の前に発信者番号通知 (186) を付加して発信するときに、どの経路を通るかを設定できます。

1 設定 Web 画面を表示させてください。

取扱説明書「2-1 設定 Web 画面の表示」を参照してください。



2 メニューフレームの 基本設定 をクリックしてください。

操作フレームに基本設定画面が表示されます。

基本設定

基本的な項目についての設定を行います。

動作モード NATルータ

接続ユーザー名

接続パスワード

接続パスワードの確認入力

ADSL側IPアドレス/ネットマスク PPPにより取得
 指定する /

使用する電話機 ナンバーディスプレイ機能なし

発信者番号通知 通知する

加入電話のキャッチホン契約 契約なし

電話回線ダイヤル種別 自動認識

186発信経路 自動

以下の項目はプロバイダから指示があった場合に入力してください。

DNSサーバーアドレス(プライマリ)

(セカンダリ)

設定

Ver 1.21より追加された機能です

3 項目の設定をしてください。

● [186 発信経路]

接続先番号の前に発信者番号通知 (186) を付加して発信するときに、どの経路を通るかを設定します。「加入電話」は明示的に加入電話番号を相手に通知したい場合に選択します。

初期値には、「自動」が設定されています。

- ・ 自動
- ・ 加入電話

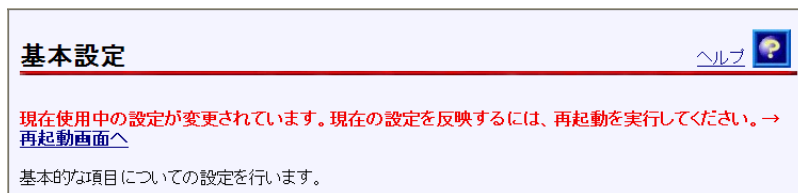


お知らせ

通常は「自動」に設定してご使用ください。

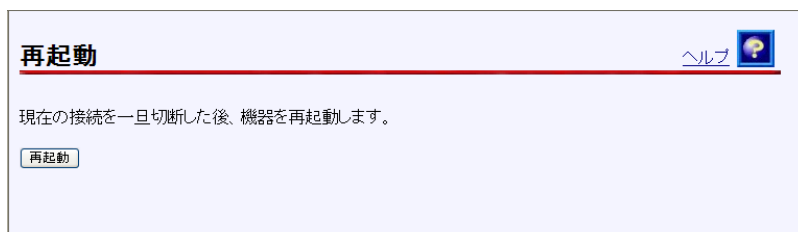
4 **設定** をクリックしてください。

再起動を促すメッセージが表示されます。



5 **再起動画面へ** をクリックしてください。

再起動画面が表示されます。

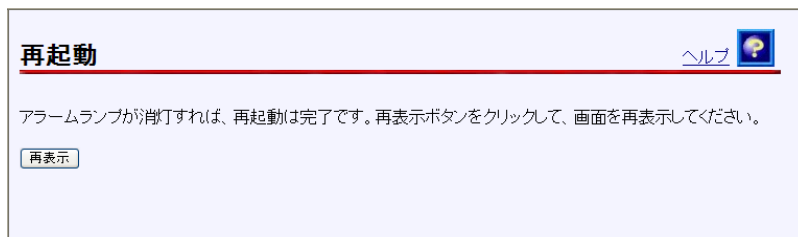


お知らせ

設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って本商品が動作します。

6 **再起動** をクリックしてください。

本商品の再起動中の画面が表示され、本商品が再起動します。



お知らせ

再起動中には、Webブラウザで本商品にアクセスすることはできません。

7 アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。 **再表示** をクリックしてください。